

上北農業生産情報 第5号

令和8年8月24日
青森県上北農林水産事務所

【水稻の適期刈取につとめましょう！】

○ 刈取りの遅れは品質低下につながるので、適期刈取に努めましょう！

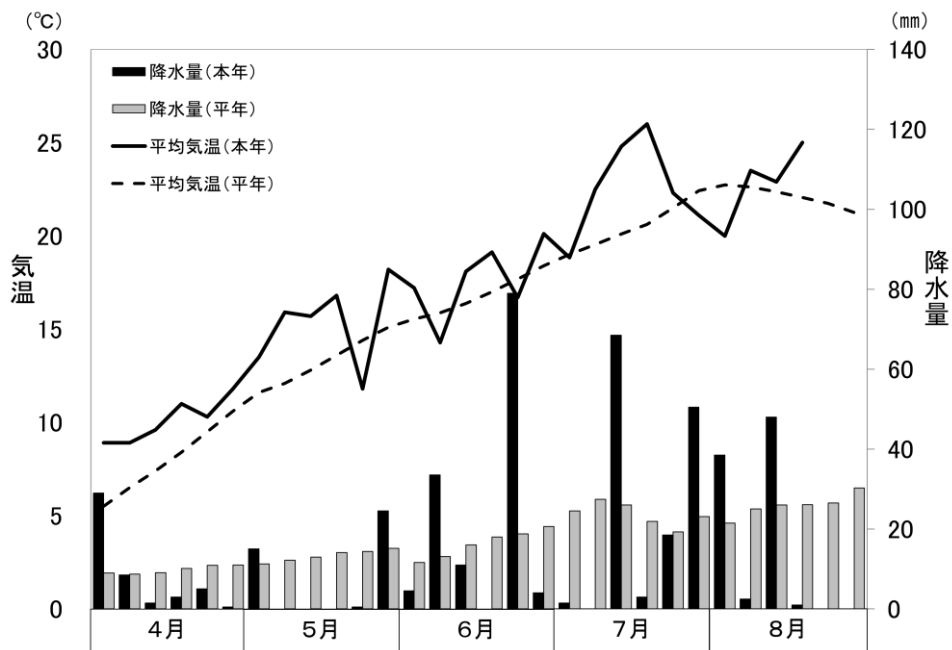
【農作業中の熱中症に注意しましょう!!】

- 高温時の作業は避けましょう！
- こまめな休憩と水分・塩分補給を行いましょう！
- 1人での作業は避け、出かける前に家族に一声かけましょう！
- 熱中症対策グッズ（帽子・空調服等）を活用しましょう！

【クマの出没に注意してください！】

- 8月22日、十和田市奥瀬地区でツキノワグマによる人身被害がありました。
- 遭遇した場合は落ち着いてください。背中を向け歩くことは大変危険です。
- 屋外での作業は複数人でするほか、ラジオやクマ鈴などを携帯してください。
- 作業に夢中になりすぎず、周辺を確認し遭遇しない対策を心がけてください。

気 象



【半旬別平均気温・降水量の推移（十和田アメダス）】

【7月】

- ・ 平均気温は、上旬・中旬をとおして平年を上回り、下旬はわずかに下回った。
- ・ 日照時間は、上旬は上回り、中旬・下旬は下回った。
- ・ 降水量は、上旬は平年を下回り、中旬・下旬は上回った。

【7月の気象（十和田アメダス）】

項 目	平均気温℃		最高気温℃		最低気温℃		日照時間 hr		降水量 mm	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
上 旬	20.7	19.3	25.5	23.8	16.7	15.5	56.8	43.8	1.5	51.9
中 旬	25.4	20.4	29.1	24.8	22.3	16.8	29.0	41.3	71.5	47.9
下 旬	21.6	22.0	24.9	26.5	19.4	18.4	9.9	50.9	69.0	42.4

注）気温は10日間の平均、日照時間と降水量は10日間の合計（下旬は11日間の平均・合計）

【8月上中旬】

- ・平均気温は、上旬で上回り、中旬では下回った。
- ・日照時間は、上旬・中旬を通して上回った。
- ・降水量は、上旬・中旬を通して下回った。

【8月上中旬の気象（十和田アメダス）】

項 目	平均気温℃		最高気温℃		最低気温℃		日照時間 hr		降水量 mm	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
上 旬	21.7	22.7	25.7	27.3	17.9	19.0	69.5	51.1	41.0	46.5
中 旬	23.9	22.2	28.5	26.7	20.7	18.6	56.1	46.3	49.0	52.1

注）気温は10日間の平均、日照時間と降水量は10日間の合計

東北地方 1か月予報（8月22日～9月21日までの天候見通し）

令和8年8月20日 仙台管区气象台 発表

○暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、東北太平洋側では期間の前半はかなり高くなる見込みです。

○東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

水 稲

《生育状況》

管内の出穂最盛期（50%出穂）は、平年並の8月3日であった。

【上北管内の市町村別水稻出穂状況】

市町村	作付面積 (ha)	出 穂			最盛期の 平 年 差	備 考
		始め	最盛期	終わり		
十和田市	3,550	7月28日	8月1日	8月7日	早1日	[出穂始め] 5%到達日
七戸町	1,720	7月30日	8月4日	8月8日	遅1日	
東北町	1,300	7月30日	8月3日	8月8日	±0日	
野辺地町	13	7月30日	8月3日	8月7日	早1日	[出穂最盛期] 50%到達日
横浜町	145	7月31日	8月5日	8月8日	±0日	
三沢市	310	8月5日	8月13日	8月16日	遅7日	
六戸町	823	7月30日	8月3日	8月8日	±0日	[出穂終わり] 95%到達日
おいらせ町	478	8月3日	8月8日	8月12日	遅3日	
六ヶ所村	33	8月4日	8月8日	8月12日	遅3日	
管内全体	8,372	7月29日	8月3日	8月11日	±0日	

《今後1か月間の主な作業》

1 水管理

落水時期が早すぎると、玄米の肥大が抑えられ、収量や品質・食味の低下を招くので、湿田では出穂後20～25日、乾田では出穂後30～35日を目安に落水する。

2 刈取り

- (1) 「まっしぐら」の刈取適期の始め(出穂後の積算気温960℃の到達日)は、出穂期が8月3日のほ場で9月17日頃になると見込まれる。

「まっしぐら」の刈取適期の目安

十和田アメダス：8月18日まで実測値、8月19日以降は平年の日平均気温で積算。

刈取適期	出穂期				
	7月29日	8月1日	8月3日	8月5日	8月7日
適期始め	9月12日	9月15日	9月17日	9月20日	9月23日
適期終わり	9月26日	9月29日	10月2日	10月5日	10月8日

注) 適期始めの目安は出穂後積算気温960℃到達日、適期終わりの目安は出穂後積算気温1200℃到達日

- (2) 個々のほ場の刈取適期は、出穂の早晚や籾数の多少によって異なるので、籾の黄化程度(ほ場全体の籾の約90%が黄化した時期)や籾水分(25～26%程度まで減少した時期)等から総合的に判断する。
- (3) 刈遅れると茶米や胴割米が発生し品質低下が懸念されることから、適期内の刈取りに努める。

3 乾燥

- (1) 登熟ムラによる高水分籾や未熟な籾の混入が多い場合は、籾水分18%程度で一旦乾燥を中断し、最低5～6時間以上貯留してから仕上げ乾燥を行う二段乾燥など、水分ムラに配慮した乾燥に努める。
- (2) 「良食味・高品質米」生産のため、適正水分15.0%を目標に乾燥する。

4 その他留意する点

- (1) 降雨に備え、刈取り前までに排水路の整備を行う。
- (2) 大雨等で倒伏した場合は可能な限り株起こしを行う。また、冠水したほ場では、可能な場合は動力噴霧機で散水し、稲に付着した泥を洗い流す。また、早期の倒伏や冠水被害は品質の低下が懸念されるので、できるだけ別刈り、別乾燥、別出荷する。
- (3) コンバイン等の機械の点検時には必ずエンジンを停止する。ほ場の出入りや傾斜地の走行は慎重に行うなど、農作業事故が起きないように十分注意する。

大豆

《生育状況》

- 1 生育観測ほの開花期は、平年より4日遅い8月1日で、8月10日現在の草丈は、平年より長かった。晩播狭畦栽培では、一部ほ場で倒伏が見られる。
- 2 ベと病は小発生で、一部ほ場で黒根腐病による枯死株が見られる。また、食葉性害虫による食害が散見される。

生育観測ほの生育状況(品種：おおすず)】

調査地	年次	開花期 (月/日)	8月10日現在 草丈(cm)	備 考
十和田市赤沼	本年	8/ 1	100.6	6/4 は種(平年:6/1)
	平年	7/28	93.6	
	前年	7/23	111.4	

注) 平年値は平成 22 年～令和 7 年の平均値

《今後 1 か月間の主な作業》

1 病虫害防除

- (1) マメシクイガの防除は原則 2 回防除とし、1 回目は 8 月第 5 半旬、2 回目はその 7～10 日後に行う。1 回防除の場合は 8 月第 6 半旬～9 月第 1 半旬に行う。
- (2) 紫斑病は、開花期後 20～40 日の間に薬剤散布を行う。マメシクイガ防除との同時散布が可能である。
- (3) チオファネートメチル剤、ベノミル剤、アゾキシストロビン剤は、紫斑病に対する耐性菌が確認されているので、昨年使用した場合は別の薬剤を使用する。

小 麦

《今後 1 か月間の主な作業》

- 1 は種予定のほ場で雑草が多い場合、は種前に非選択性除草剤を散布する。
- 2 ほ場の団地化を図るとともに、明きょや弾丸暗きょを施工し、排水対策を行う。
- 3 地力増進のため堆肥を施用するほか、土壌分析を行い、適正 pH6.0～6.5 となるように苦土石灰等を施用する。
- 4 適期(9 月 15 日～25 日)には種できるよう、耕起・砕土などのほ場準備を行う。出芽や苗立ちを確保するために、丁寧な耕起・砕土を行う。
- 5 雪腐病などの防除のため、薬剤による種子消毒を実施する。

ながいも

《生育状況》

- 1 生育観測ほの 8 月 10 日現在の生育は、いも長 30.7cm(平年比 67%)、いも重 46.7g(平年比 15%)、いも径 20.3mm(平年比 49%)と平年を大幅に下回っている。
- 2 一般ほ場でも、6 月の低温や 7 月の日照不足により、新しいもの生育は遅れている。
- 3 ナガイモコガ、コガネムシ類による葉の食害が見られる。また一部でカメムシによる食害も見られる。

【生育観測ほの生育状況(種いも：庄司系 1 年子芽付き 100 g)】

調査地	年次	植付日 (月/日)	つるのネット頂 到達日 (月/日)	8月10日現在		
				いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (mm)
東北町滝沢平	本年	5/12	7/19	30.7	46.7	20.3
	平年	5/ 9	7/ 6	45.7	317.6	41.8
	前年	5/14	7/ 1	52.0	487.3	46.3

注) 平年値は平成 28 年～令和 7 年の平均値

《今後 1 か月間の主な作業》

- 1 台風に備えて支柱の補強や、明きょの設置等排水対策を徹底する。
- 2 病虫害防除は、炭そ病、葉渋病、ナガイモコガの防除を中心に計画的に行う。

露地ねぎ

《生育状況》

- 1 生育観測ほの 8 月 10 日現在の生育は、草丈、茎径とも平年を下回った。
- 2 一般ほ場では、7 月中旬から出荷が行われている。
- 3 一部のほ場でさび病、斑点性病害やネギアザミウマ、ハモグリバエ類の被害が見られる。

【生育観測ほの生育状況(品種：夏扇パワー)】

調査地	年次	は種期 (月/日)	定植期 (月/日)	8 月 10 日現在	
				草丈 (cm)	茎径 (mm)
十和田市洞内	本年	1/20	4/ 9	97.3	22.9
	平年	1/27	4/13	106.3	26.8
	前年	1/20	4/10	92.3	25.8

注) 平年値は令和 2 年～令和 5 年の参考値(この期間 2 粒まき)。令和 6～8 年は 3 粒まき。

《今後 1 か月間の主な作業》

- 1 明きょの設置等排水対策を徹底する。
- 2 生育の進み具合に合わせ、葉色が淡くなりすぎないように追肥を行う。また、最終培土(収穫予定の 20～30 日前が基準)は、適期に行う。
- 3 病虫害防除は、さび病、斑点性病害、軟腐病の防除を中心に計画的に行う。

ごぼう

《生育状況》

- 1 生育観測ほの 8 月 10 日現在の生育は、草丈が平年比 93%とかなり下回ったものの、葉数は同 132%と大幅に上回った。
- 2 7 月の降雨で生育が旺盛になり、生育の停滞やムラは回復してきている。
- 3 病虫害はアブラムシ類のほか、コガネムシ等による葉の食害が散見されている。また、黒条病が散見されている。

【生育観測ほの生育状況(品種：柳川理想)】

調査地	年次	は種期 (月/日)	8 月 10 日現在	
			草丈 (cm)	葉数 (枚)
三沢市猫又	本年	5/ 7	103.9	4.1
	平年	5/ 5	111.6	3.1
	前年	5/14	98.4	4.0

注) 平年値は平成 28 年～令和 7 年の 10 か年平均値

《今後1か月間の主な作業》

- 1 黒斑細菌病及び黒条病を主体とした病害防除のほか、ヒョウタンゾウムシ類及びアブラムシ類の防除を実施する。

りんご

《生育状況》

- 1 生育観測ほの「ふじ」の8月10日現在の果実肥大(横径)は平年を上回っている。

生育観測ほの生育状況】

調査地	品種	8月10日現在の果実肥大(横径)				
		本年(cm)	平年(cm)	平年比(%)	前年(cm)	前年比(%)
十和田市米田	ふじ	6.6	6.3	105	6.0	110

注1) 平年は平成28年～令和7年までの10か年平均値

《今後1か月間の主な作業》

1 摘果

仕上げ摘果が終了した園地でも、再度点検し、適正な着果量になるよう摘果を徹底する。

2 病虫害防除

モモシクイガの産卵が続いているので、無袋栽培では8月末までの薬剤散布にモモシクイガの防除剤を混用する。腐らん病の発生が見られるので、枝腐らんは、見つけ次第切り取り、胴腐らんは再発病斑を含め、適切に処置を行う。

3 高温対策

日焼け果の発生防止に向け、早い時期からの強い葉摘みは避けるほか、高温時の徒長枝整理、支柱入れ、枝つりなどは控える。

「ジョナゴールド」等の中生種に落果が見られた場合は、落果防止剤を散布する。

苗木や若木、わい性台木は乾燥の影響を受けやすいので、園地の状況を確認し、乾燥している場合は1㎡当たり20リットル程度かん水する。

草からの蒸散を防ぐため、草刈りをこまめに行い、樹冠下に敷き草をする。

牧草

《生育状況》

生育観測ほでは、平年より2日早い7月15日に2番草を収穫し、10a当たり乾物収量は164kgで平年比76.3%と少なかった。

【生育観測ほの2番草収量状況(オーチャードグラス主体)】

調査地	年次	収穫日 (月/日)	草丈 (cm)	乾物収量 (kg/10a)	乾物収量平年比 (%)
十和田市大不動	本年	7/15	64.5	164	76
	平年	7/17	69.5	215	—
	前年	7/18	77.9	179	83

注) 平年値は平成28年～令和7年の10か年平均値

《今後1か月間の主な作業》

1 2 番草の収穫及び追肥

2 番草を収穫していないほ場は、速やかに収穫するとともに追肥する。

2 草地の更新

牧草の収量が減少してきた草地は計画的に更新し、生産力の回復に努める。今後は以下により作業を進め、9月末を目途に、は種を終えるようにする。

(1) 土壌改良・は種床造成を終えている場合

は種床造成後、3～4週間放置し、雑草が十分に出揃ったら非選択性除草剤を散布して、雑草表面が乾いてから、牧草の施肥とは種を行い鎮圧する。

(2) これから草地更新する場合

ア 土壌改良・は種床の造成

堆肥の散布と耕起を行い、石灰質資材やリン酸質資材を散布、碎土・整地しては種床を造成する。

イ 3～4週間放置

は種床造成後3～4週間放置し、雑草を十分に発芽させる。

ウ 除草剤散布

雑草が十分に出揃ったら非選択性除草剤を散布する。

エ は種・施肥・鎮圧

除草剤散布後、雑草表面が乾いたら、牧草のは種と施肥を行い鎮圧する。

飼料用とうもろこし

《生育状況》

生育観測ほの絹糸抽出期は8月1日で平年より4日早い。

【生育観測ほの生育状況（品種：スノーデント110）】

調査地	年次	は種期 (月/日)	7月20日現在		雄穂抽出期 (月/日)	絹糸抽出期 (月/日)
			草丈(cm)	葉数(枚)		
東北町北栄	本年	5/16	197.8	15.0	7/30	8/ 1
	平年	5/19	171.7	12.2	8/ 2	8/ 5
	前年	5/16	251.7	12.0	7/25	7/27

注) 平年値は、平成30年～令和7年の8か年の平均値

《今後1か月間の主な作業》

- 1 ほ場ごとの刈取適期（黄熟期）を確認しながら、計画的に刈取りを進める。
- 2 大雨・強風等による倒伏・折損が発生したほ場では、速やかに刈取る。